



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 平川 功 (TEL) 03-5220-6222  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,690	△8.6	1,384	△50.0	1,271	△53.7	566	△64.8
23年3月期第1四半期	39,033	—	2,768	—	2,746	—	1,612	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 564百万円 (△61.5%) 23年3月期第1四半期 1,466百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.71	17.40
23年3月期第1四半期	55.88	—

(注) 平成23年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	97,270	72,809	72.0
23年3月期	99,393	72,924	70.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 70,079百万円 23年3月期 70,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	△1.7	3,500	△24.4	3,500	△23.0	1,900	△22.0	59.27
通期	160,000	2.9	11,000	2.6	11,000	4.1	6,000	41.1	187.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	32,057,450株	23年3月期	31,917,450株
24年3月期1Q	一株	23年3月期	一株
24年3月期1Q	31,999,230株	23年3月期1Q	28,849,450株

(注) 平成23年1月14日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 2 平成23年1月14日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。
- 3 平成24年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数32,057,450株により算出しております。
- 4 当社は、平成23年8月3日(水)に機関投資家及びアナリスト向け電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 追加情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災と福島原発事故の発生に加え、円高の進行により、生産及び輸出が大幅に減少しました。個人消費も、消費マインドの悪化や風評被害により低迷し、先行き不透明な状況が続いております。

スナック菓子業界においては、震災後、自粛や節約の動きが広がり、厳しい状況で推移しました。

このような環境にあつて、当社グループは、被災した新宇都宮工場、下妻工場、研究開発本部内工場、清原工場の 4 工場の早期復旧に向けた取り組みを行い、3 月下旬より順次生産を再開し、5 月下旬には全ての生産ラインで生産を再開することができました。生産再開までの間は、他地区の工場での代替生産を行いましたが、定番品に絞った展開となったため、売りが活性化せず、新製品の発売の遅れや広告展開、店頭でのプロモーション活動の自粛も影響し、4 月、5 月の売上高は前年割れの状況となりました。5 月下旬より新製品の展開や店頭プロモーション活動を再開し、6 月にはほぼ震災前の状況まで回復しております。

当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、35,690 百万円（前年同四半期比 8.6% 減）となりました。利益面では、引続きコスト・リダクションを推進しましたが、減収による利益の減少が大きく、営業利益は 1,384 百万円（前年同四半期比 50.0% 減）、経常利益は 1,271 百万円（前年同四半期比 53.7% 減）、四半期純利益は 566 百万円（前年同四半期比 64.8% 減）となりました。

#### ・事業別の状況

##### (食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高はスナック菓子の売上高が減少し、35,213 百万円（前年同四半期比 8.6% 減）となりました。

##### ・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、30,467 百万円（前年同四半期比 9.7% 減）となりました。震災の被害を受けなかったコーン系スナックは前年同四半期を上回りましたが、それ以外のポテト系スナック、小麦系スナックについては店頭プロモーションの自粛等によりほぼ全ての製品の売上高が前年同四半期を下回りました。

##### ・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、シリアル食品が震災の影響を受けたため、4,745 百万円（前年同四半期比 0.9% 減）となりました。ベーカリーは、値引きキャンペーン効果と取扱店舗数の増加により、売上高は前年同四半期を上回りました。被災した清原工場で生産しているシリアル食品は、4 月下旬まで出荷できず、売上高は前年同四半期を下回りました。3 月に発売した「ひとくち美膳」も本格展開が 2 ヶ月遅れ、5 月からの展開となりました。

##### (その他事業)

その他事業の売上高は 477 百万円（前年同四半期比 7.3% 減）となりました。物流事業の売上高はほぼ前年同四半期並みとなりましたが、販売促進ツールの売上高は、震災の影響により取引先各社がプロモーション活動を自粛したことなどにより、前年同四半期を下回りました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は 97,270 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,123 百万円減少いたしました。この主な要因は、震災の影響により利益が減少する一方で、配当金や法人税等の支払いにより現預金が減少したことによるものです。

資産は、現預金と固定資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ 2,123 百万円減少し、97,270 百万円となりました。固定資産の減少は、減価償却費が取得額を上回ったことによるものです。

負債は、未払法人税等及び災害損失引当金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ 2,008 百万円減少し、24,460 百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ 114 百万円減少し、72,809 百万円となりました。

この結果、自己資本比率は 72.0% となり、前連結会計年度末に比べ 1.4 ポイント上昇しました。また、1 株当たり純資産額は 2,186 円 05 銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、2,702百万円減少し、15,536百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは14百万円の純収入(前年同四半期は5,651百万円の純収入)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,287百万円、減価償却費1,524百万円の資金の増加があったものの、法人税等の支払額2,427百万円の資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,897百万円の純支出(前年同四半期は820百万円の純収入)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出1,125百万円及び韓国での合弁会社HAITAI-CALBEE Co., Ltd.(7月より連結子会社化)の設立に伴う関係会社株式の取得による支出872百万円の資金の減少があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは758百万円の純支出(前年同四半期は3,749百万円の純支出)となりました。この主な要因は、配当金の支払額903百万円の資金の減少があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成23年5月10日に発表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,238	15,536
受取手形及び売掛金	11,139	11,043
たな卸資産	4,276	5,314
その他	3,779	3,734
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	37,420	35,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,678	21,264
機械装置及び運搬具（純額）	14,550	13,836
土地	10,707	10,619
建設仮勘定	619	973
その他（純額）	922	874
有形固定資産合計	48,478	47,569
無形固定資産		
のれん	4,822	4,685
その他	1,911	1,783
無形固定資産合計	6,734	6,468
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,855	7,711
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	6,761	7,616
固定資産合計	61,973	61,654
資産合計	99,393	97,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,656	6,448
短期借入金	107	139
1年内返済予定の長期借入金	182	93
未払金	3,914	2,981
未払法人税等	2,443	819
賞与引当金	3,096	1,223
役員賞与引当金	182	86
災害損失引当金	1,378	664
その他	4,327	6,622
流動負債合計	21,288	19,078
固定負債		
長期借入金	9	9
退職給付引当金	3,335	3,413
役員退職慰労引当金	424	462
資産除去債務	658	661
その他	752	835
固定負債合計	5,180	5,381
負債合計	26,469	24,460
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,744	10,856
資本剰余金	10,312	10,424
利益剰余金	49,938	49,611
株主資本合計	70,995	70,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62	△40
為替換算調整勘定	△697	△772
その他の包括利益累計額合計	△759	△813
新株予約権	102	102
少数株主持分	2,585	2,628
純資産合計	72,924	72,809
負債純資産合計	99,393	97,270



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	39,033	35,690
売上原価	23,011	21,246
売上総利益	16,021	14,444
販売費及び一般管理費	13,253	13,059
営業利益	2,768	1,384
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	45	40
不動産収入	18	17
受取損害賠償金	—	68
その他	93	41
営業外収益合計	158	170
営業外費用		
支払利息	19	1
為替差損	88	203
その他	72	77
営業外費用合計	180	283
経常利益	2,746	1,271
特別利益		
固定資産売却益	915	9
助成金受入益	27	230
貸倒引当金戻入額	54	—
災害損失引当金戻入額	—	128
その他	29	1
特別利益合計	1,026	370
特別損失		
固定資産売却損	—	27
固定資産除却損	46	21
災害による損失	—	252
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	351	—
投資有価証券評価損	154	—
その他	35	53
特別損失合計	588	355
税金等調整前四半期純利益	3,185	1,287
法人税、住民税及び事業税	2,028	855
法人税等調整額	△575	△231
法人税等合計	1,453	623
少数株主損益調整前四半期純利益	1,732	663
少数株主利益	119	97
四半期純利益	1,612	566

## 四半期連結包括利益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,732	663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	21
為替換算調整勘定	△241	△120
その他の包括利益合計	△265	△99
四半期包括利益	1,466	564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,433	512
少数株主に係る四半期包括利益	32	51

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,185	1,287
減価償却費	1,861	1,524
のれん償却額	136	137
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	351	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△292	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,195	△1,871
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△133	△96
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21	77
前払年金費用の増減額 (△は増加)	48	35
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	37
受取利息及び受取配当金	△47	△42
支払利息	19	1
為替差損益 (△は益)	79	180
助成金受入益	△27	△230
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	154	—
固定資産売却損益 (△は益)	△915	17
固定資産除却損	46	21
災害損失	—	123
売上債権の増減額 (△は増加)	853	64
たな卸資産の増減額 (△は増加)	391	△1,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	336	808
未収入金の増減額 (△は増加)	97	△6
未払金の増減額 (△は減少)	△433	△626
未払費用の増減額 (△は減少)	2,586	2,252
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82	△194
その他	1,149	450
小計	8,165	2,902
利息及び配当金の受取額	57	47
利息の支払額	△19	△2
助成金の受取額	27	230
災害損失の支払額	—	△736
法人税等の支払額	△2,579	△2,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,651	14

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△393	△1,062
有形固定資産の売却による収入	1,313	56
無形固定資産の取得による支出	△51	△62
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の売却による収入	8	8
関係会社株式の取得による支出	—	△872
貸付けによる支出	△37	△98
貸付金の回収による収入	2	106
差入保証金の差入による支出	△16	△39
差入保証金の回収による収入	66	65
その他	△65	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>820</b>	<b>△1,897</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,565	36
長期借入れによる収入	3	—
長期借入金の返済による支出	△382	△89
ストックオプションの行使による収入	—	224
配当金の支払額	△692	△893
少数株主への配当金の支払額	△87	△9
リース債務の返済による支出	△24	△26
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,749</b>	<b>△758</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,639	△2,702
現金及び現金同等物の期首残高	4,469	18,238
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27	—
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>7,137</b>	<b>15,536</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。